

ハウスコンディション



①5月ハウスコンディション



Oil Pattern Distance	42	Reverse Brush Drop	40	Oil Per Board	45 ul
Forward Oil Total	15.435 mL	Reverse Oil Total	10.17 mL	Volume Oil Total	25.605 mL
Tank Configuration	Multi Tank	Tank A Conditioner	ICE	Tank B Conditioner	FIRE

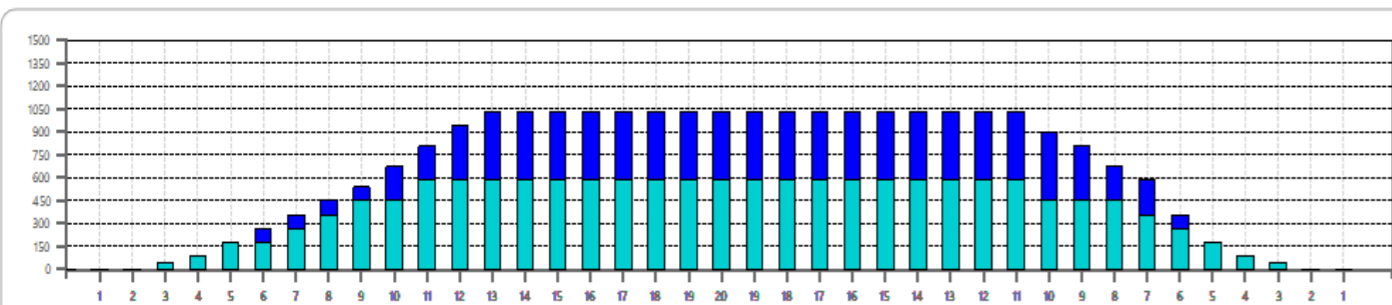
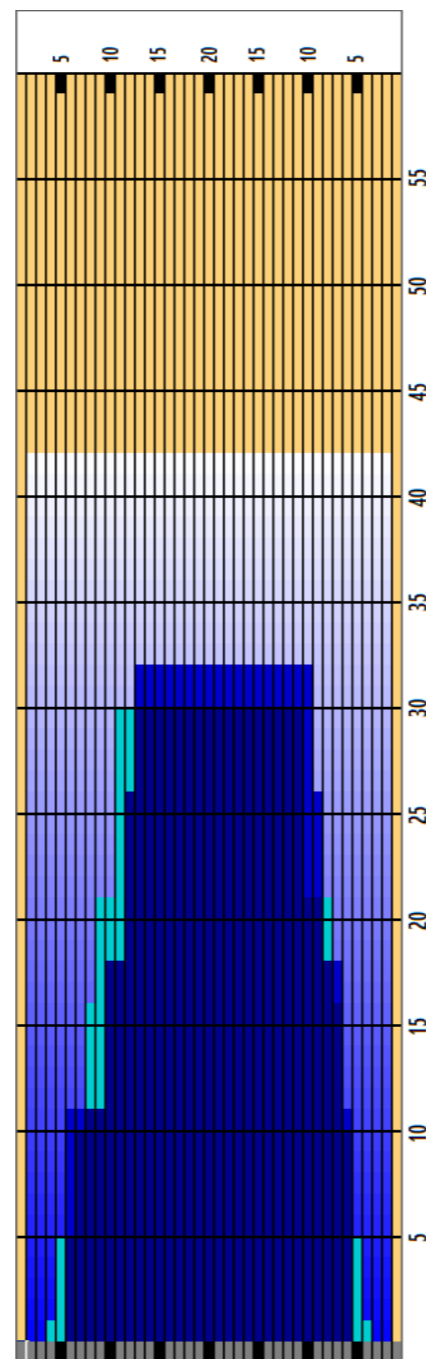
	START	STOP	LOADS	SPEED	TANK	CROSSED	START	END	FEET	T.OIL
1	3L	3R	1	18	A	35	0.0	0.0	0.0	1575
2	4L	4R	1	14	A	33	0.0	1.9	1.9	1485
3	5L	5R	2	14	A	62	1.9	5.8	3.9	2790
4	7L	6R	2	18	A	56	5.8	10.9	5.1	2520
5	8L	7R	2	18	A	52	10.9	16.0	5.1	2340
6	9L	8R	2	18	A	48	16.0	21.1	5.1	2160
7	11L	11R	3	22	A	57	21.1	30.4	9.3	2565
8	2L	2R	0	26	A	0	30.4	42.0	11.6	0

	START	STOP	LOADS	SPEED	TANK	CROSSED	START	END	FEET	T.OIL
1	2L	2R	0	30	B	0	42.0	32.0	-10.0	0
2	13L	10R	2	22	B	36	32.0	25.8	-6.2	1620
3	12L	9R	3	18	B	60	25.8	18.2	-7.6	2700
4	10L	7R	3	18	B	72	18.2	10.6	-7.6	3240
5	6L	6R	2	14	B	58	10.6	6.7	-3.9	2610
6	2L	2R	0	14	B	0	6.7	0.0	-6.7	0

Cleaner Ra Main Mix NA Forward
 Cleaner Ra Back End Mix NA Reverse
 Cleaner Ra Back End Distance NA Combined
 Buffer RPM: 4 = 700 | 3 = 500 | 2 = 200 | 1 = 100

6/7・8に開催されるボウレックス大会のオイルパターンの
 オイル量を少し減らしました。
 強いカバーのボールが投げやすいと思います。
 大会に参加される方は練習にどうぞ

Item	3L-7L:18L-18R	8L-12L:18L-18R	13L-17L:18L-18R	18L-18R:17R-13R	18L-18R:12R-8R	18L-18R:7R-3R
Description	Outside:Middle	Middle:Middle	Inside:Middle	Middle:Inside	Middle:Middle	Middle:Outside
Track Zone Ratio	5.48	1.51	1	1	1.16	4.11



AI分析

※AI回答ですので責任は持てません



1. 基本分析

【長さ】: 42フィート(ミディアム)

【総オイル量】: 25.605 mL

【比率】: 外側と中央の比率は5.48:1(左)、4.11:1(右)と中程度で、いわゆる「壁」をそれなりに感じる、投げやすさを重視したハウス～大会用コンディションです。

2. 具体的な攻略ライン

【狙い目】: フッキングポイント(オイルの出口)は10～11枚目を目安にします。「Rule of 31」に当てはめると $42 - 31 = 11$ となり、11枚目が理想的なブレイクポイントです。5枚目より外はオイルが非常に薄いため、ここをガイド(壁)として利用し、10枚目付近をタイトに攻めるのが最もスコアが安定します。

3. ボール選択と表面加工

【推奨ボール】: ソリッド～ハイブリッド素材の中・強カバー。
 2000～3000番程度の表面加工を施したボールで、ミッドエリア(レーン中間)をしっかりキャッチさせ、動きを安定させるのが最新のセオリーです。

4. 試合運び

【スタート】: 5～10枚目の壁を意識し、外に出しすぎないようにラインを取ります。ICEとFIREの2種類のコンディショナーが使用されているため、手前の走りとおの止まりが明確に出るはずですが。

【中盤以降】: トラックエリアが削れてきたら、無理に外で粘らず、立ち位置を内側にシフトします。中のオイルを使いつつ、フッキングポイントを10枚目付近に固定する「インサイドへの平行移動」で対応しましょう。

5. まとめ

オイルの壁があるため、外ミスに寛容なパターンです。強めのカバーのボールを選択し、オイルが薄い外側を「壁」として信じて投げることで、高いストライク率を維持できるでしょう。

リーグ&サンデーコンディション

FLEX ②5月リーグ・サンデーコンディション



Oil Pattern Distance	43	Reverse Brush Drop	39	Oil Per Board	40 ul
Forward Oil Total	14.52 mL	Reverse Oil Total	12.2 mL	Volume Oil Total	26.72 mL
Tank Configuration	Multi Tank	Tank A Conditioner	FIRE	Tank B Conditioner	ICE

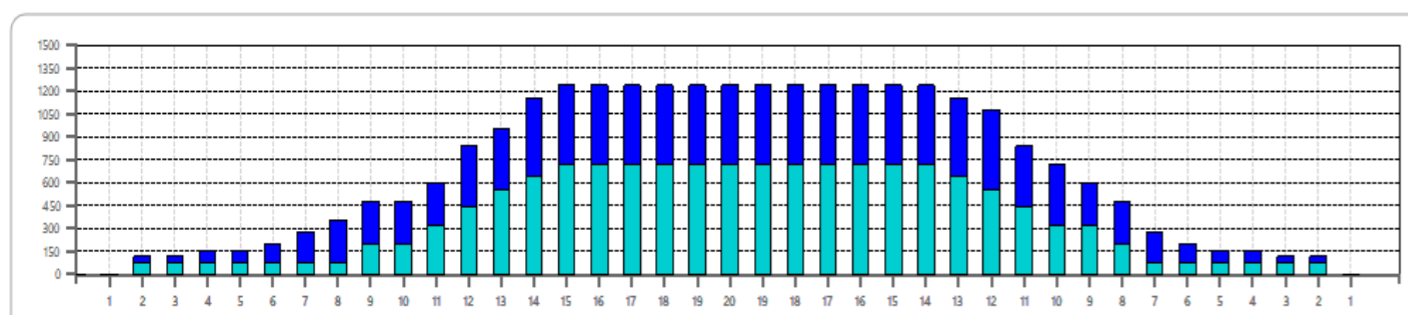
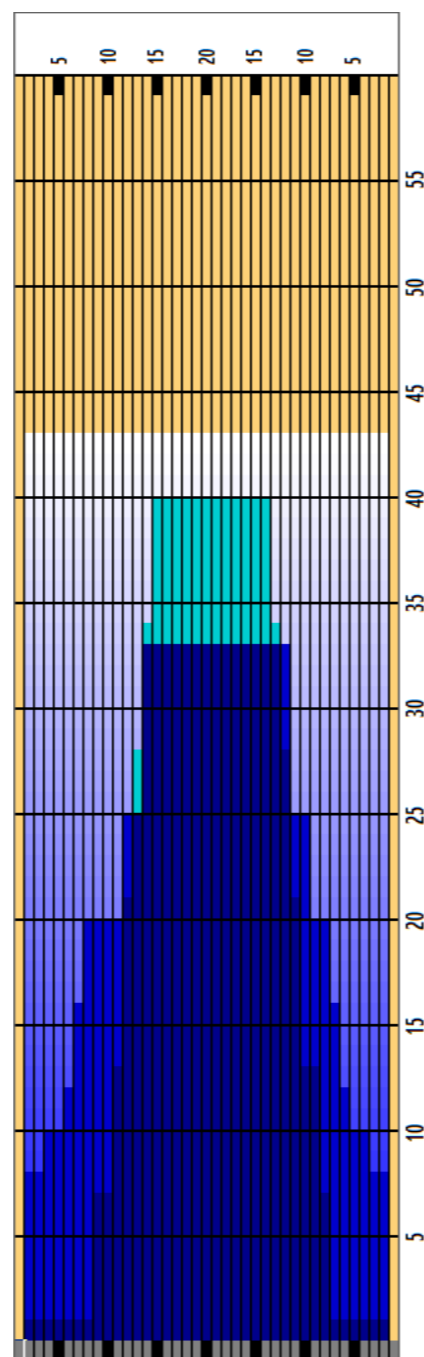
	START	STOP	LOADS	SPEED	TANK	CROSSED	START	END	FEET	T.OIL
1	2L	2R	2	14	A	74	0.0	1.9	1.9	2960
2	9L	8R	3	14	A	72	1.9	7.8	5.9	2880
3	11L	9R	3	14	A	63	7.8	13.7	5.9	2520
4	12L	11R	3	18	A	54	13.7	21.3	7.6	2160
5	13L	12R	3	18	A	48	21.3	28.9	7.6	1920
6	14L	13R	2	18	A	28	28.9	34.0	5.1	1120
7	15L	14R	2	22	A	24	34.0	40.2	6.2	960
8	2L	2R	0	22	A	0	40.2	43.0	2.8	0

	START	STOP	LOADS	SPEED	TANK	CROSSED	START	END	FEET	T.OIL
1	2L	2R	0	30	B	0	43.0	33.0	-10.0	0
2	14L	12R	3	18	B	45	33.0	25.4	-7.6	1800
3	12L	10R	3	14	B	57	25.4	19.5	-5.9	2280
4	8L	8R	2	14	B	50	19.5	15.6	-3.9	2000
5	7L	7R	2	14	B	54	15.6	11.7	-3.9	2160
6	6L	6R	1	14	B	29	11.7	9.8	-1.9	1160
7	4L	4R	1	14	B	33	9.8	7.9	-1.9	1320
8	2L	2R	1	14	B	37	7.9	6.0	-1.9	1480
9	2L	2R	0	14	B	0	6.0	0.0	-6.0	0

Cleaner Ra Main Mix NA Forward
 Cleaner Ra Back End Mix NA Reverse
 Cleaner Ra Back End Distance NA Combined
 Buffer RPM: 4 = 700 | 3 = 500 | 2 = 200 | 1 = 100

先月よりも1フィート長くなりました。
 段差も少し緩やかになっているので、スタートはソリッドの対象コアのボールがオススメです

Item	3L-7L:18L-18R	8L-12L:18L-18R	13L-17L:18L-18R	18L-18R:17R-13R	18L-18R:12R-8R	18L-18R:7R-3R
Description	Outside:Middle	Middle:Middle	Inside:Middle	Middle: Inside	Middle:Middle	Middle:Outside
Track Zone Ratio	6.74	2.25	1.06	1.01	1.67	6.74



AI分析

※AI回答ですので責任は持てません



1. 基本分析

【長さ】: 43フィート(ミディアムロング)

【総オイル量】: 26.72 mL

先月より1フィート伸び、オイルの段差(比率)が緩やかになっているのが特徴です。極端な「壁」が少し内側に移動したイメージで捉えてください。

2. 具体的な攻略ライン

【狙い目】: 43ftの長さを考慮した「出口」は12枚目付近です。外の5枚目から外側はオイルが非常に薄いため、出しすぎると手前で反応してしまい、厚く入る危険があります。立ち位置17~20枚目あたりから、道中12~13枚目を通し、フッキングポイントを10枚目付近に設定するタイトなラインが最も安定します。

3. ボール選択と表面加工

【推奨ボール】: ソリッド素材の対称コア(例:IQツアー、フェイズII等)解説文にもある通り、まずは対称コアでレーンの動きを素直に読みます。表面は2000番~3000番程度の「曇り」がある方が、43ftの長さに対して手前から安定した転がりを得られ、バックエンドの暴れを抑えられます。

4. 試合運び

【スタート】: インサイドのオイルを壁として使い、外に振りすぎないボウリングを徹底します。キャリーダウン(オイルが奥に伸びる現象)が起きやすいため、最初は少し強めの転がりを意識してください。

【中盤以降】: 手前のオイルが削れてきたら、徐々にインサイドへ入りつつ、ボールをハイブリッドやパールの対称コアに変更します。奥の動きが甘くなってきたら、走るボールで角度をつけるより、ラインを少し中に詰めてポケットを突く方がミスを減らせます。

5. まとめ

このパターンは「外ミスは厳禁、内ミスはオイルが助けてくれる」という構造です。43ftという長さを味方につけ、過度な曲がり求めず、バックエンドを「点」ではなく「線」で捉えることが高スコアへの近道です。

トーナメントコンディション



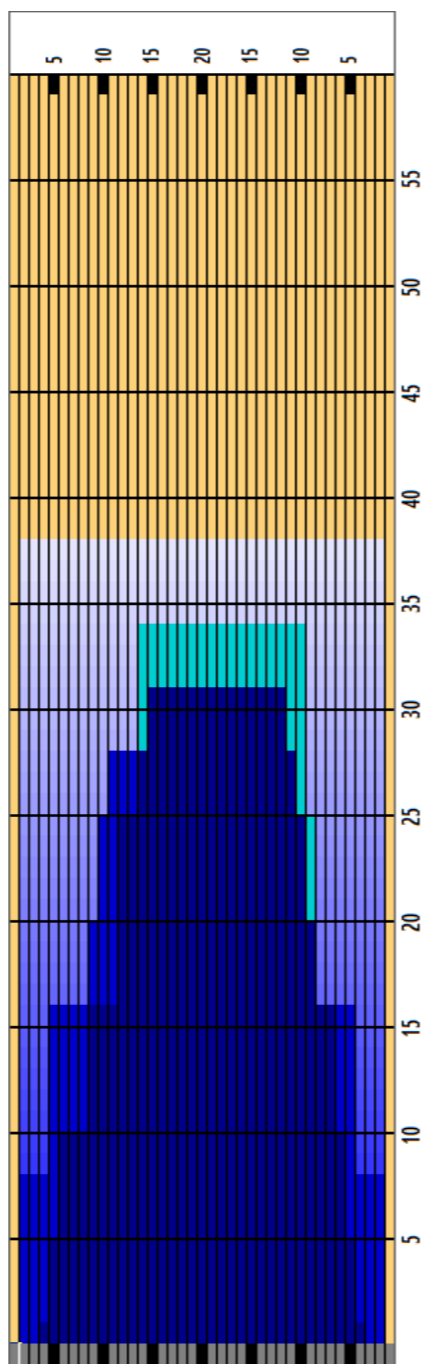
③5月トーナメントコンディション



Oil Pattern Distance	38	Reverse Brush Drop	37	Oil Per Board	50 ul
Forward Oil Total	17.55 mL	Reverse Oil Total	14.1 mL	Volume Oil Total	31.65 mL
Tank Configuration	Multi Tank	Tank A Conditioner	FIRE	Tank B Conditioner	ICE

	START	STOP	LOADS	SPEED	TANK	CROSSED	START	END	FEET	T.OIL
1	2L	2R	1	14	A	37	0.0	0.0	0.0	1850
2	4L	4R	1	14	A	33	0.0	1.9	1.9	1650
3	5L	5R	2	14	A	62	1.9	5.8	3.9	3100
4	6L	6R	2	18	A	58	5.8	10.9	5.1	2900
5	9L	7R	2	18	A	50	10.9	16.0	5.1	2500
6	12L	9R	3	22	A	60	16.0	25.3	9.3	3000
7	14L	10R	3	22	A	51	25.3	34.6	9.3	2550
8	2L	2R	0	26	A	0	34.6	38.0	3.4	0

	START	STOP	LOADS	SPEED	TANK	CROSSED	START	END	FEET	T.OIL
1	2L	2R	0	30	B	0	38.0	31.0	-7.0	0
2	15L	12R	1	22	B	14	31.0	27.9	-3.1	700
3	11L	11R	1	22	B	19	27.9	24.8	-3.1	950
4	10L	10R	2	18	B	42	24.8	19.7	-5.1	2100
5	9L	9R	2	14	B	46	19.7	15.8	-3.9	2300
6	5L	5R	4	14	B	124	15.8	7.9	-7.9	6200
7	2L	2R	1	14	B	37	7.9	6.0	-1.9	1850
8	2L	2R	0	14	B	0	6.0	0.0	-6.0	0

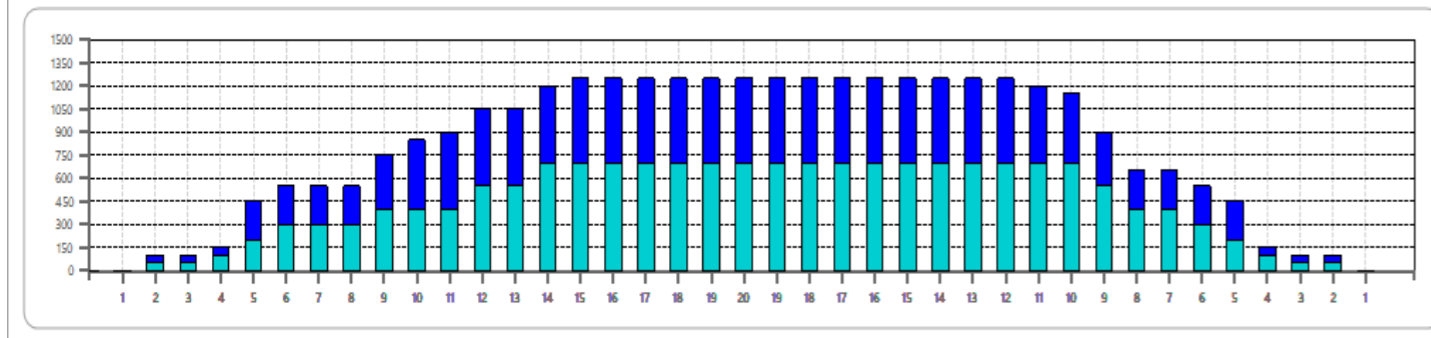


Cleaner Ra	o Main Mix	NA	Forward	
Cleaner Ra	o Back End Mix	NA	Reverse	
Cleaner Ra	o Back End Distance	NA	Combined	

Buffer RPM: 4 = 700 | 3 = 500 | 2 = 200 | 1 = 100

シーズントライアル、スプリングシリーズの
オイルパターンを採用してみました。
動きのおとなしいボールを内ミス注意で投げましょう

Item	3L-7L:18L-18R	8L-12L:18L-18R	13L-17L:18L-18R	18L-18R:17R-13R	18L-18R:12R-8R	18L-18R:7R-3R
Description	Outside:Middle	Middle:Middle	Inside:Middle	Middle:Inside	Middle:Middle	Middle:Outside
Track Zone Ratio	3.47	1.52	1.04	1	1.21	3.29



AI分析

※AI回答ですので責任は持てません



1. 基本分析

【長さ】:38フィート(ミディアムショート)

【総オイル量】:31.65mL(ヘビー)

38フィートという短めの距離に対し、31mLを超えるオイル量は非常に密度が高く「厚塗り」なコンディションです。手前のオイルが強固なため、ボールが滑りやすく、バックエンドの反応がボヤけやすいのが特徴です

2. 具体的な攻略ライン

【狙い目】:5枚目~8枚目を通すタイトなライン。フッキングポイント(出口)は8枚目付近を意識してください。外側のオイルも3枚目付近まで入っているため、外に振りすぎるとオイルに乗って戻ってきません。オイルの壁を過信せず、タイトに攻めるのがスコアメイクの鉄則です。

3. ボール選択と表面加工

【推奨ボール】:ソリッド系の対称コア、または安定感のあるハイブリッド。オイル量に負けないよう、表面は2000番~3000番程度に曇らせたボールが推奨されます。過度なキレ(曲がり)よりも、手前からしっかり転がり、レーン中盤で安定するボールを選んでください。

4. 試合運び

【スタート】:オイルの段差を感じるため、まずは外側のドライゾーンを早めに触らせるイメージでポケットを突きます。

【中盤以降】:削れたオイルが先に伸びる「キャリーダウン」が発生しやすいため、曲がり甘くなったらボールの表面を調整するか、少しだけインサイドに入りつつ、球速をコントロールして対応します。

5. まとめ

「短くて重い」という、近年のトーナメントらしい難解なパターンです。内ミスは厚く入りやすく、外ミスは戻らないシビアな設定ですが、欲張らずにスペアを確実に拾い、ラインの変化を敏感に察知することが攻略の鍵となります。

オイルパターン スケジュール表

	月	火	水	木	金	土	日
朝	①	①	①	①	①	①	①
夕方			②		③		②

①ハウスコンディション

②リーグ&サンデーコンディション

③トーナメントコンディション

●オイルパターンは毎月変更します。

●②③は大会使用レーンのみリメンテします。

●お盆、年末年始などの繁忙期は土曜日扱いとさせていただきます。

●プロチャレンジ、シーズンカップなど特別大会時には別途ご案内します。

●都合によりリメンテを変更、実施しない場合がございます。

●詳しくはスタッフまでご確認ください。